

2024年度一般選抜前期 A 日程（1 月 23 日実施）

国 語 問 題

（〈国 1〉ページ～〈国 13〉ページ）

I

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

英文の構成上、もつとも重要な要素は「パラグラフ」である。これを「段落」といつてしまうと、日本文の「段落」とあまりに似て非であるので、「パラグラフ」という英語をそのまま使用した方が正確である。(①)

ひとつのパラグラフの中には主題が必ずひとつあり、主題が別にある場合は、新たなパラグラフを作る。ひとつのパラグラフにはひとつの主題が鉄則である。ひとつのパラグラフはいくつかの文章から成立するが、個々の文章はそれぞれが相互的な関連を持ち、パラグラフの主題を **A** するために連結している。

パラグラフがいくつか集まると、まとまったパッセージを成す。これらのパラグラフはそれぞれが意味的に密接な関連を保って連結しており、同一パラグラフ内の内部機能と同じような機能を果たす。(②)

各パラグラフ内でもつとも重要な文章は、主題文 (topic sentence) と呼ばれ、この中に当該パラグラフの大意が含まれている。「トピック・センテンス」は通常、パラグラフの最初に登場する。むろん、二番目にきたり、あとにくることもありえるが、おおむね、いちばんはじめの文章がそのパラグラフ全体の主題を表す文章である。あとに続く文章は、そのトピック・センテンスをサポートする支持文 (supporting sentence) である。パラグラフの最後にくるのは結論 (conclusion) である。(③)

この基本的なパラグラフの内部構成は、パラグラフ同士の連結にかんしても同じである。まず冒頭で導入のパラグラフ (introduction) をおき、ここで全体的な主題を提示する。次に、いくつかのサポートするパラグラフ (supporting paragraphs, discussion, body) で、主題について **A** する。例証や解説をしたり、分類や比較対照したり、因果関係を示したり、理由や定義を述べたりと、さまざまな形式をとるが、つまり具体的な各論である。最後に、主題を要約した結論のパラグラフ (concluding paragraph) がくる。(④)

このうちもつとも大切なのはいちばんはじめの、主題を紹介するパラグラフである。この導入パラグラフ内の結論文はとくに重要で「thesis statement」と呼ばれる。「テーマ・センテンス」とでもいうほかないが、要は全体のテーマを凝縮した文章で、第一番目のパラグラフの最後にくる。(⑤)

つまり英語の論理構成では、ともかく肝心なこと、自分がもつとも主張したいことを最初に述べておき、あとは細部にわたり説明をし、

説得するのである。英語の論理構成が **B** 的だとされるゆえんである。換言すると、冒頭のパラグラフさえ読めば、全部を読まなくても、問題の所在がどこにあり、筆者はそれに対しどのような立場をとるのか、という要点が把握できる。

これは書く際だけでなく、話をするときにもあてはまる。いちばんいいことは最初にいうのが英語である。結論を先に出す、いつでもよい。

あ 日本人の思考方法であるが、英語的な論理構成とは明らかに異なる。文章作法における「起承転結」の影響もあるのかもしれないが、**B** 的な思考方法をとる英語話者にとっては、何がいいのかよくわからない。

日本人は、たとえいいたいことを明確に持っていたとしても、いきなり結論から入るのではあまりに素っ気ない、という感じを持つ。この傾向は、断りや拒否などの意志表示が必要で心理的負担が大きくなる場合には、さらに顕著になる。そこで、すぐさま主張したり、直接答えたりする代わりに、状況説明や理由づけなど周辺から、そろそろとやんわり入っていく。

それを英語的思考の人間が聞くと、「いいわけはあとでいい。答えはイエスなのか、ノーなのか、いったいどっちなんだ?」ということになる。語学研修や留学などでホームステイをした日本人学生が、「質問に答えているのに、アメリカ人はすぐ「Yes or No?」ってイライラする」と困惑することがあるのは、聞かれた質問に直接答えず、まず理由から入る日本の答え方が理解してもらえないことからくる。英語力の問題ではない。

これは **い** 文化の問題である。

C の問題ではなく、言語文化の違いである。しかしながら実際問題としては、国際的な場面

における対外折衝などで日本人が損をする結果になりがちである。

う 述べたあげくにあとの方で大事なことをいい出して、相手

が英語話者の場合には、効果が薄い。

文書のやりとりでも、そういうケースがよくある。日本人が書いた手紙は英語自体は間違いがなく立派な英文なのだが、「日本は春となりました」式の時候のあいさつから始まるていねいな手紙が多く、肝心の用件は終わりにようやく書かれていたりする。この丁寧さは、なるほど日本ではこういう手紙の書き方をするのか、と異文化理解への突破口となればよいが、忙しかったり気の短い英語話者だった(1)りすると、裏目に出る。

D の思いにさせるか、この手紙はいいたい何だ、と途中で放り出されてしまう。

インターネットや電子メールになると、それだけでなく情報が多いので、受け手はつねに読むかどうかの決断を迫られ、一見してつま

らなようなもの、自分に関係なさそうなものは、読まないで飛ばすか、ゴミ箱に捨てることになる。そこで、読んでもらえるかどうかの決め手は、最初にどれだけインパクトのあることを書くかにかかってくる。そうなるどうしても、冒頭で重要メッセージを簡潔に提示する **B** 型構成が強くなる。いいことがあとで登場する起承転結型あるいは渦巻き型構成は、分が悪い。

え、そのことがわかっていても、訳す場合にはどうしようもないことが多い。

同時通訳は、聞いているそばから同時に訳すのであるから、構成を変えることは不可能である。少々時間のある逐次通訳なら、場合によつては「これは肝心」と思われる部分を先に持つてくることが可能かもしれないが、そういう「編集作業」が通訳者に許されるかどうかは別問題である。

翻訳の場合も、構成を根こそぎ変更して英語式に直す、ということがどこまでできるかは疑問であるし、するべきか否かという問題は残る。

つまり、英語でよりよくコミュニケーションをはかろうと思ったら、話全体を英語の論理構成で進めないと効果的ではないが、しかし通常は、訳に携わる人間がそこまで立ち入ることはむずかしい。

²⁾ 結局、発言者自身がそれをわきまえることしかないのだが、理屈では理解していても、なかなかそうはいかないのが現実である。どうしても母語の論理構成で書いたり話したりすることになり、それ自体は当然であるにしても、外国人を相手にしてのコミュニケーションとなると、少なからず混乱をきたす。

(出典 鳥飼玖美子『歴史をかえた誤訳』 なお、問題作成上、一部省略してある。)

問 1 空欄 **あ** **え** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|---------|---|--------|---|------|---|--------|
| あ | ① | それはさておき | ② | くわえて | ③ | ちなみに | ④ | ひるがえつて |
| い | ① | いやしくも | ② | それはそうと | ③ | すぐれて | ④ | いわゆる |
| う | ① | すらすら | ② | つらつら | ③ | ざっと | ④ | ばらばら |
| え | ① | しかし | ② | ときに | ③ | とりわけ | ④ | それゆえ |

エ	ウ	イ	ア
---	---	---	---

問2 空欄 A D に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

A ① 要約 ② 敷衍 ③ 提示 ④ 転換

B ① 戦略 ② 情緒 ③ 直線 ④ 網羅

C ① 利害 ② 倫理観 ③ 丁寧さ ④ 善し悪し

D ① 以心伝心 ② 明鏡止水 ③ 慇懃無礼 ④ 隔靴搔痒

問3 本文中、次の一文が省略されている。(①) (⑤) のどこに入れるのが最も適当か、番号をマークしなさい。

ここで書き手は話のテーマについて自分がどのような意見を述べようとしているのかを、明示する。

ケ

問4 線(1)「裏目に出る」の説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

① 日本人の丁寧さだけが伝わって、「起承転結」といった規範をもつ日本人の思考パターンが理解されない。

② 相手の心理的負担を考慮するといった日本文化の良さが、逆に不親切な書き方と捉えられてしまう。

③ 日本の言語文化的な良さではなく、間違いがない文章を書くといった表面的な良さだけが目立ってしまう。

④ 相手をおもんばかった丁寧な文章であるがゆえに、最後まで読んでもらえなくなってしまう。

コ

問5 線(2)「発言者自身がそれをわきまえることしかない」の説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

クしなさい。

サ

① 日本語話者が、英語的思考に従って論理構成を行い、話したり書いたりするしかない。

② 日本語話者が、日本語の話をあえて英語の論理構成に直して英語に翻訳するしかない。

③ 日本語話者が、自分たちの母語の論理構成の特徴を生かしつつ、話したり書いたりするしかない。

④ 日本語話者も英語話者も、お互いの思考方法にこだわらず、相手の論理構成を尊重して話したり書いたりするしかない。

サ

問 6

本文の内容に合うものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- ① 翻訳者は、翻訳元の言語の文章構成の方法を尊重しながら翻訳する必要がある。
- ② 「起承転結型」の思考パターンをもつ日本人は、英語話者との言語文化上の衝突を避けることはできない。
- ③ 言語によって文章構成の方法に差があるが、その差は各言語の話者の文化的な思考パターンの違いが関係する。
- ④ 英語は論理的に段落を重ねていくが、日本語は論理性に配慮しつつ、感情に訴えることを重視する。

シ

Ⅱ

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

レジリエンス (resilience) とは、過酷な環境やストレスフルな状況、あるいはトラウマ体験といった逆境に直面した際に、そのショックから回復し、状況に適応していく力を指す概念です。日本語の訳は弾力性、回復力など定まっておらず、「心のしなやかさ」など抽象的な言葉が使われることもあることから、どのような力を指す概念なのかイメージしにくいのではないのでしょうか。はじめにいくつかの具体的な例を挙げてみましょう。日本で二〇一一年に起こった大震災のように、災害に見舞われて住む場所を失ったり、日常生活がままならない状況になったりしても、悲嘆に暮れ続けることなく、新しい環境の中で少しずつ生活を立て直していくことができる力は、代表的なレジリエンスといえます。ここでレジリエンスとして重視されるべきポイントは、「悲嘆しない」ことではなく、「立て直していくこと」のできる力です。(①) また、災害のような急なライフイベントではなく、もともと経済的に苦しい家庭状況にあるなど不自由な環境に置かれていても、日々の生活に豊かな楽しみや喜びを見いだすことのできる力もレジリエンスに相当します。さらには、死に物狂いで勉強をしてきたにもかかわらず、受験に失敗してしまったといった挫折を経験しても、自暴自棄になることなく、別の進路を見いだすことができる力もレジリエンスです。二〇二〇年以降、世界中を席卷した新型コロナウイルスの感染は、あ レジリエンスが求められる状況であったといえます。経済的な困窮や、外出や対人交流が大きく制限されたことによって、精神的な不調に陥ってしまった人が多くいた一方で、転職や事業方針の変更、オンラインを活用した交流など、働き方や余暇の楽しみ方を柔軟に変えて状況に適応していった人、すなわち A 人々もいました。

心のレジリエンスの研究は、リスクのある環境下で育った子どもの発達を観察する中で発展しました。ここでのいうリスクとは、虐待や、親の病気、戦争、貧困などのことです。(②) たとえば虐待を受けた子どもは、そうでない子どもに比べて、本来持っている能力が育ちにくい傾向が指摘されています。しかしながら、虐待を受けた子どものすべてが低い能力を示すわけではもちろんありません。い とても高い能力を示す子どもが存在することがわかってきました。そうした研究が報告される中で、リスク下に置かれた子どもたちの負の側面ばかりを懸念するのではなく、逆境を跳ね返すかのような逞しさをレジリエンスと呼び注目していこうという流れが生まれていきました。(③)

さらには逆境下で生きる人々が、そうでない人々よりも高い力を発揮する現象も確認されるようになりました。たとえばその一つにヒスパニック・パニックがあります。これは、アメリカに住むヒスパニック系住民を対象とした研究によって示されたものです。彼らは差別、所得の低さ、教育・医療の得られにくさなどさまざまな逆境下で生活していますが、非ヒスパニック系の人々と比べて同じくらい、あるいはそれ以上に良好な健康を示すことが多いとされています。

う

レジリエンスは、さまざまな逆境の中でも適応し、場合によってはさらにポジティブな機能を発揮することのできる力です。ただし、近年の研究や、非認知能力の研究文脈でレジリエンス概念が用いられる場合、「長期的にさらされる過酷な環境における適応力」はあまり扱われず、「それまで普通に過ごしていた中で何らかの困難に直面した際に立ち直る力」、すなわちV字のグラフで表されるような回復力に焦点が当てられることが多いようです。

また、レジリエンス概念を理解するうえで重要な点として、個人のレジリエンスが社会文化的文脈と切り離せないということがあります。レジリエンスは、何らかの逆境下において回復・適応できる力であるわけですが、ここでいう逆境 (adversity) と適応 (adaptation) とはいったい何であるのかというのは、実は国や文化によって異なり、もつと言えばその個人の所属する地域コミュニティや集団によって異なります。どの程度のストレスフルイベントが逆境として想定されるのか、また、どのような状態になれば適応したとみなされるのかは、その個人の **B** や、人々の価値観に依存しているのです。たとえば子どもであれば、逆境としては受験戦争やいじめなどが想定されるかもしれません。そしてそこで求められている適応というのは、「勉強によく取り組んでいる」ことや、「毎日休まずに通学できている」「良好な友人関係を築けている」ということが期待されています。一方で、戦地に赴く軍人であればどうでしょうか。逆境としては、生死を脅かす強烈なストレスの中での職務が想定されます。そしてそこでは、「たとえ死の危険があっても冷静さを失わず、精神の安定を保ち任務を遂行する」ことが求められます。(④) したがって、レジリエンスという言葉を用いる際には、その個人に対してどのような逆境と適応が想定されているのか、さらにはその背景に、社会が暗黙に期待する「あるべき姿」がどのように反映されているかということを意識する必要があります。

個人のレジリエンス能力は、逆境に直面した際の適応のすべてを決定するわけではありませんが、適応のしやすさを予測することは確かです。それに加えて、レジリエンス能力の高さは、その後の人生にさまざまな良い帰結をもたらす可能性も明らかにされています。

え

、子ども時代のレジリエンスの高さは、メンタルヘルスの不調を予防し、健やかな発達を導きやすいとされています。たとえば、レジリエンスの高い子どもは、就学前の抑うつや不安が起りにくいことや、若年でのアルコール摂取の可能性が低くなることなどが報告されています。(⑤) また、喫煙や飲酒、薬物使用などのリスク要因を抱えているアフリカ系アメリカ人の青少年を対象とした縦断研究^注では、本人たちのもつレジリエンス要因が、そうしたリスク要因のネガティブな影響を打ち消すわけではないものの、それとは別にポジティブな適応を導くことが示されました。

学業適応についても多くの研究があります。アカデミック・レジリエンスとは、教育的発達にとって大きな脅威となる逆境状況を克服する力のこと、自信 (confidence)、調整 (coordination)、制御 (control)、落ち着き (composure)、コミットメント (commitment) という五つのCから構成されます。アカデミック・レジリエンスが高い学生は、学校生活を楽しみ、授業によく参加し、自尊心が高くなりやすいことが報告されています。その一方で、レジリエンスと学業成績の間には、直接的な関連はみられにくいようです。たとえば、留年を経験した学生とそうでない学生の比較調査では、留年や成績とレジリエンスには関連がなかったという結果が示されています。

また、大人のメンタルヘルスにおいても、レジリエンスは重要な役割を果たします。カナダの病院において看護師を対象に行われた研究では、レジリエンスの高さが、ストレスやバーンアウトを減少させることが示されました。(⑥) また、オーストラリアで成人を対象に実施された調査では、中年期の人々において、レジリエンスが低い場合に自殺傾向のリスクが上昇する可能性が報告されています。リウマチのような身体疾患を抱える患者において、長期的な身体的・心理的機能をレジリエンス要因が予測することも明らかにされています。

さらに、リスク状況での適応や、メンタルヘルスの予防を超えて、よりポジティブな未来を予測することを示す研究もあります。たとえば、ビジネスの起業家に対して行われた縦断調査では、レジリエンスが五年後の成功を予測することが示唆されました。また高齢者を対象とした調査では、レジリエンスの高さが年齢に対する否定的な認識やステレオタイプへの影響を緩和し、高齢者の仕事や社会活動への参加を促進することが報告されています。すなわちレジリエンスは、人生に対する肯定的な意味づけや、新たな肯定的体験を得るに当たってのCを取り除くことで、人生における幸福を予測する可能性があるということです。さらにレジリエンスの高い者は、ホープ(あることを成就させたいという願望が達成されるという信念に基づく目標指向的思考)を抱くことによって、目標達成に向かって具

体的に計画を立てて成し遂げ、成功や幸福を手に入れやすいことを示す研究もあります。こうした **D** ことにより、もともとは深刻な環境にいる子どもや大きなトラウマ体験を抱えた人のための概念であったレジリエンスは、そうした経験をもたない人にとっても生きるうえで重要な力として認識されるようになり、誰もが身につけるべき力として、教育の文脈で語られるようになっていきました。

〔出典 平野真理「レジリエンス」、小塩真司編『非認知能力』所収 なお、問題作成上、一部改変してある。〕

注 縦断研究Ⅱ日を分けて、同一対象を複数回調査する手法を用いた研究。

問1 空欄 **あ** **え** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- | | | | | |
|---|----------|-----------|----------|----------|
| あ | ① 特別に | ② うってかわって | ③ まさに | ④ いずれにせよ |
| い | ① 例えば | ② というよりも | ③ そればかりか | ④ 予測通り |
| う | ① しかしながら | ② なかんずく | ③ とはいえ | ④ このように |
| え | ① それから | ② まず | ③ このため | ④ ただし |

ア **イ** **ウ** **エ**

問2 空欄 **A** **D** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| A | ① レジリエンスを発揮した | ② レジリエンスを求めた |
| | ③ レジリエンスに成功した | ④ レジリエンスを愛好した |
| B | ① 所属する場のルール | ② 持っている期待値 |
| | ③ 適応能力の高低 | ④ 本質的な資質 |
| C | ① 後ろ向きの記憶 | ② 高すぎる希望 |
| | ③ ネガティブな障壁 | ④ 社会的な規範 |
| D | ① 歴史的事実が蓄積される | ② 研究が積み重ねられる |
| | ③ 調査が交互に進められる | ④ 調査が子どもに対して行われる |

オ **カ** **キ** **ク**

問3 本文中、次の一文が省略されている。(①) (⑥) のどこに入れるのが最も適当か、番号をマークしなさい。

ケ

同じレジリエンスという言葉を使っている、そこで表現されている力は微妙に異なるわけです。

問4 ——— 線「リウマチのような身体疾患を抱える患者において、長期的な身体的・心理的機能をレジリエンス要因が予測することも

明らかにされています」とあるが、何が明らかにされているか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

コ

- ① 身体疾患を抱える患者の現状でのレジリエンスが低くても、長期間のレジリエンス増強によって症状の回復が見込まれること。
- ② 身体疾患を抱える患者の現状でのレジリエンスの高低によって、患者の今後の状態を見通せること。
- ③ 身体疾患を抱える患者のレジリエンスの有無によって、その機能を伸ばせるかどうかが変化する事。
- ④ 身体疾患を抱える患者のレジリエンスが低くても、症状の回復が長期にわたって期待できること。
- ⑤ 身体疾患を抱える患者が今後、レジリエンスを取得するかどうか、今後の機能回復に強く相関すること。

問5 本文の内容に合うものを、次の中から二つ選び、番号をマークしなさい。ただし、解答の順序は問わない。

シ サ

- ① レジリエンスは抽象的な概念であり、また、多様な人に対して起こる現象であるため、研究対象や調査方法にばらつきがある。
- ② レジリエンスとは、逆境に適応して、ポジティブな能力を発揮する人のことを指すと定義されていることが多い。
- ③ アメリカのヒスパニック系住民は、そうではない住民と同程度以上に健康な状態であることが多いが、それにはレジリエンスが関わる。

- ④ 困難に直面した人がレジリエンスによって能力を発揮するためには、挫折したり悲嘆したりしないことが重要である。
- ⑤ アフリカ系アメリカ人青年を対象とした調査では、レジリエンスによってリスク要因を排除することができると報告されている。
- ⑥ 成績不振や留年を経験した学生の中にも、アカデミック・レジリエンスが高い者はいる。

Ⅲ

次の空欄 ア イ ウ エ オ に入れるのに最も適当なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1 東海散士『佳人之奇遇』は一般的に文学史上、アと言われる。

- ① 社会小説 ② 政治小説 ③ 探偵小説 ④ 恋愛小説

2 イ は一般的に文学史上、擬古典主義に属すると言われる。

- ① 岸辺露伴 ② 鈴木露伴 ③ 高田露伴 ④ 幸田露伴

3 ウ は森鷗外によって執筆された現代小説である。

- ① 『幼年時代』 ② 『青年』 ③ 『老人と海』 ④ 『晩年』

4 エ は小林秀雄の代表的な評論である。

- ① 『吉田松陰』 ② 『洪江抽斎』 ③ 『田沼意次』 ④ 『本居宣長』

5 三島由紀夫 オ は戦後を代表する純愛小説の一つである。

- ① 『潮騒』 ② 『金閣寺』 ③ 『宴のあと』 ④ 『午後の曳航』

IV

次の空欄

ア

オ

に入れるのに最も適当なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選び、番号をマークしなさい。

1 ①～④の中で、読み方が誤っているものは **ア** である。

① 継嗣（けいし）

② 漸次（さんじ）

③ 謁見（えっけん）

④ 廉価（れんか）

2 ①～④の中で、空欄に他とは異なる漢字が入る四字熟語は **イ** である。

① **余曲折**

② **無相生**

③ **頂天外**

④ **為転変**

3 大きな団体の下役になるより、小さな組織の長になるほうがよいことを **ウ** と言う。

① 虎穴虎子

② 竜頭蛇尾

③ 鶏口牛後

④ 羊頭狗肉

4 「耳をそろえる」とは **エ** という意味である。

① 全員で真剣に話を聞くこと。

② 金額を不足なく用意すること。

③ 考えや行動を同じにすること。

④ すぐれた人や物を集めること。

5 ①～④の中で、傍線部の慣用表現が適切に用いられているものは **オ** である。

① 彼は自分に都合の良いことしか言わないので、気が置けない。

② 取り引きに失敗した彼は自腹を切って会社を辞めた。

③ 大勢の前で恥をかかれたので、彼は顔から火がでるほど怒り狂った。

④ 何度教えても生徒が同じ間違いをするので、先生は匙を投げてしまった。